

「地方議員研究会」研修参加報告

(日本共産党)

<研修目的>

市政運営において、健全な財政運営の中で、市民の声を反映した施策を行うことが求められている。財政の仕組み等について学び、参考とするために研修を受講した。

<研修概要一覧>

研修月日・時間	講演テーマ	講師
3月24日 11:00~13:30	財政健全化って何だろう？	今村 寛
3月24日 15:00~17:30	S I Mふくおか2030 ～財政シミュレーションゲームで財政と議会の役割を学ぶ～	今村 寛

研修参加者 原田貴与子

<研修概要報告>

「財政健全化って何だろう？」

講師 福岡市経済観光文化局 総務部長兼中小企業振興部長 今村 寛氏

●概要

【財政について聞きたいこと】として講師が講演経験から掲げたもの
予算の作り方、優先順位、収入支出バランスの全体像、社会保障費、借金、財政の将来見通し、財政の健全化とは
などがあげられ、これらに応える話の展開だった。

【査定があるために財政課は嫌われる】講師がかつて財政課長だった時の経験を踏まえての話

予算はルールに従って作っている。

支出の計画であるとともに収入の範囲内でしか使えない。

税金であることを踏まえ、公平性や広く見て納得していただく内容でないといけない。

議会の議決が必要である。

【予算の決め方】

前年の9～10月には予算編成方針を決める。

調書は10月から1月末くらいまで2月にはまとめて印刷に出す。

福岡市は、枠予算方式にした。

【資料にもとづく説明】

I 福岡市の財政構造

II これまでの健全化の取り組み

III 今後の財政見通し

IV 健全な財政運営に向けた取り組み

- ・福岡市では、職員に向けて財政出前講座を行っている。
- ・今村寛氏は講師を求められればいろいろなところで講演をしておられるようである。

「SIMふくおか2030」

～財政シミュレーションゲームで財政と議会の役割を学ぶ～

講師 福岡市経済観光文化局 総務部長兼中小企業振興部長 今村 寛氏

●概 要

前段の講師のもとで、受講者が、グループに分れて、予算編成のシミュレーションゲームを行った。

架空自治体である「えふ市」における幹部職員や、議員になって、提案された予算を採用するか否かについて、話し合い、まとめた後で、他グループの質問に答え、説明をしたあと、議決を受けるゲームだった。

<考 察>

- ・予算の大まかな決め方が分かりました。
- ・自治体の規模によって、1件査定でできるか、枠査定の方がいいかがあるようです。福岡市は枠査定をしており、講師の今村氏も、いざ枠査定で受けた予算編成を財政部局から担当部局になって行ってみると、担当課側の大変さが分かったと話しておられました。私も、シミュレーションゲームで、いくらかその苦労もわかる気がしました。予算要求する自治体職員も先を読む目を養うには、普段から政治や社会に関心を持ち、研修の機会を得ながら、政策提案ができることが大切だと思いました。当然議員も、見識を広めて政策提言能力を養わなければならないと思ったところです。
- ・講演資料は財政のみでなく、今後の市の課題を見据えた分析資料が合わせてつけられているので、本市における資料の在り方としても今後、多いに参考になると思いました

以上